

研究分野のキーワード：教育実践， 集団づくり， 主体形成， 発達支援， 自治と参加と共同

#### 研究紹介

以下の3つの軸で進めています。

【1】子どもの発達と教師の指導——論文「14歳の謎～思春期の悪と攻撃性」や「1980年代の生活指導実践と臨床教育学」では、精神分析学や社会心理学に視野を広げて、攻撃行動学や対象関係論などに学び、非行やいじめなどの問題と教育実践の取り組みについて研究しています。

【2】教育実践の内容方法と主体形成——論文「集団づくりと日本的和の世界」(1)～(3)では、集団づくり実践が日本的和の世界からの個人の自立と、生徒代表の選出・リコール訓練など主権者教育の意義を持つことを明らかにし、生徒が学校の管理運営にどこまで関与できるのか、生徒参加研究として新たに【3】のテーマで追究しています。

【3】学校の生徒参加と生徒自治——ドイツやフランスでは1970年代から中学・高校の職員会議に生徒代表が議決権をもって参加することが認められています。子どもの権利条約をきっかけにして日本でも生徒参加研究が進み、私は「生徒の自治と学校改革」等の論文で問題提起し、高校の生徒参加と学校協議会の歴史・実態を研究しています。